

河 川 関 係

筑後川総合内水緊急対策事業【直轄】

新規 河川ー1

- 久留米市周辺では、平成30年、令和元年、令和2年に3年連続で内水による浸水被害が発生。令和2年3月に「金丸川・池町川総合内水対策計画」を策定し、国、福岡県、久留米市が連携して総合的な内水対策を推進。
- 古賀坂排水機場の整備を行うことにより、床上浸水被害の解消を図る。

■位置図



金丸川・池町川周辺の市街化状況（R2撮影）

■平成30年7月洪水時の状況



■令和2年7月洪水時の状況



■過去の浸水被害状況

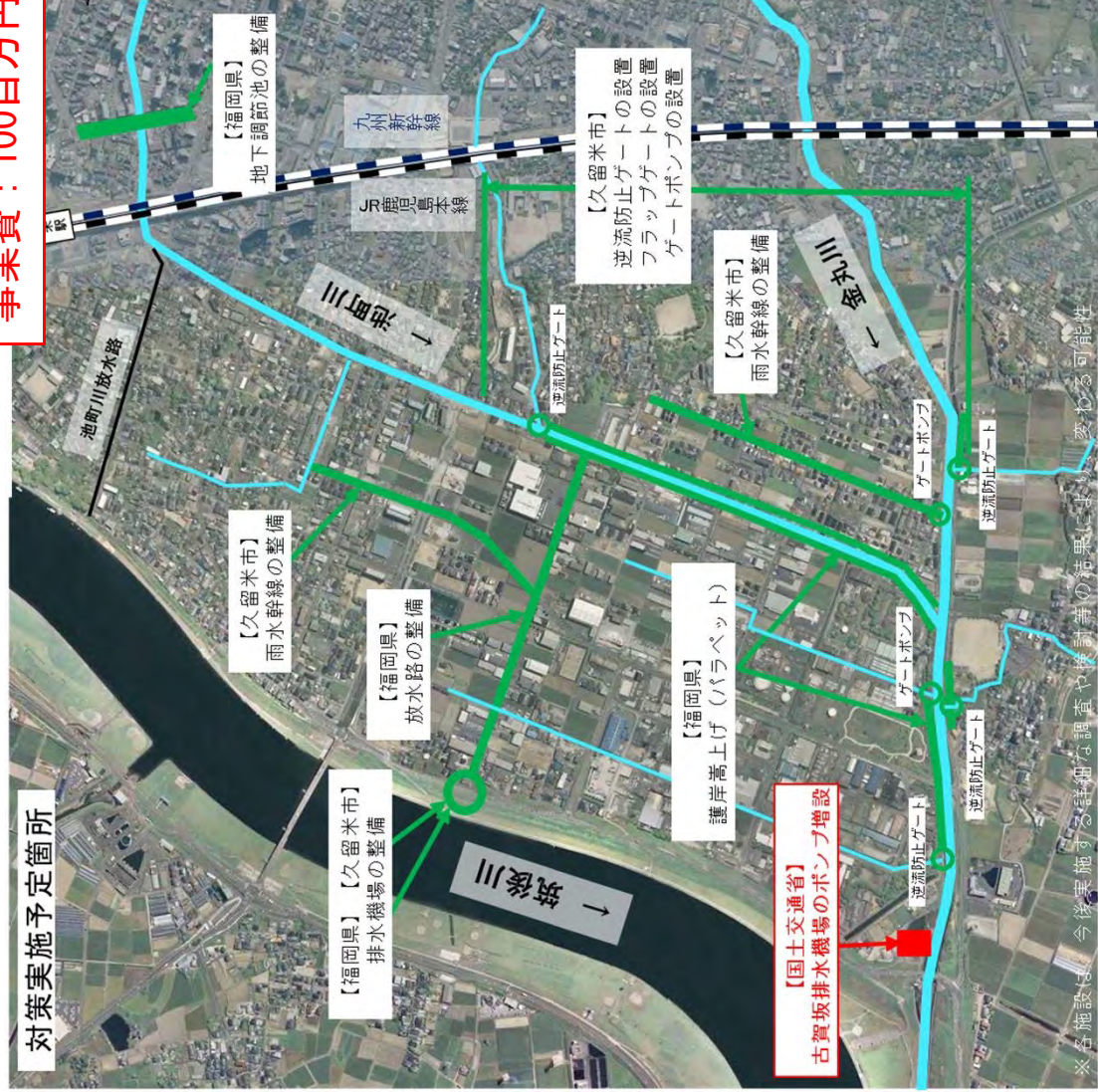
洪水発生年	被害状況
平成24年7月 (梅雨前線)	床上浸水7戸、床下浸水184戸 浸水面積：約2.9ha
平成30年7月 (梅雨前線)	床上浸水369戸、床下浸水612戸 浸水面積：約95ha
令和1年7月 (梅雨前線)	床上浸水99戸、床下浸水1,063戸 浸水面積：約64ha
令和1年8月 (秋雨前線)	床上浸水89戸、床下浸水749戸 浸水面積：約46ha
令和2年7月 (梅雨前線)	床上浸水66戸、床下浸水583戸 浸水面積：約42ha

古賀坂排水機場



■金丸川・池町川総合内水対策計画(R2.3策定)

対策実施予定箇所



事業費：100百万円

新規

2



- 遠賀川水系遠賀川は、平成27年に世界遺産登録された『遠賀川水源ポンプ室』を訪れる観光客、なかまフットパスをはじめ河川敷で行われる様々なイベントや釣り・スポーツを楽しむ市民の方々に広く利用されている。
- 中間地区では平成31年3月にかわまちづくり計画が登録され、世界遺産等の“まち”と“水辺”の魅力を繋ぎ、活かしながら、さまざまな世代が集う水辺拠点の整備を行い、地域活性化を目指している。国土交通省において、河川空間利用者の安全性等向上させるため、階段工、坂路工、高水敷整正、管理用通路等の整備を実施する。



事業箇所



令和3年度

実施内容：測量設計

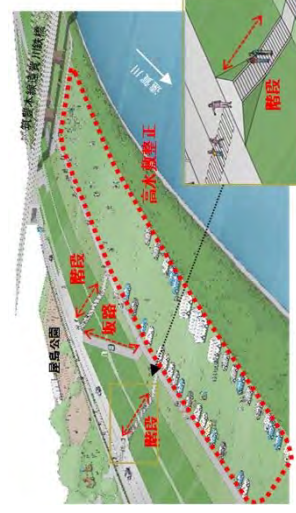
事業費：124百万円※

※事業費は水系全体を記載

整備イメージパース



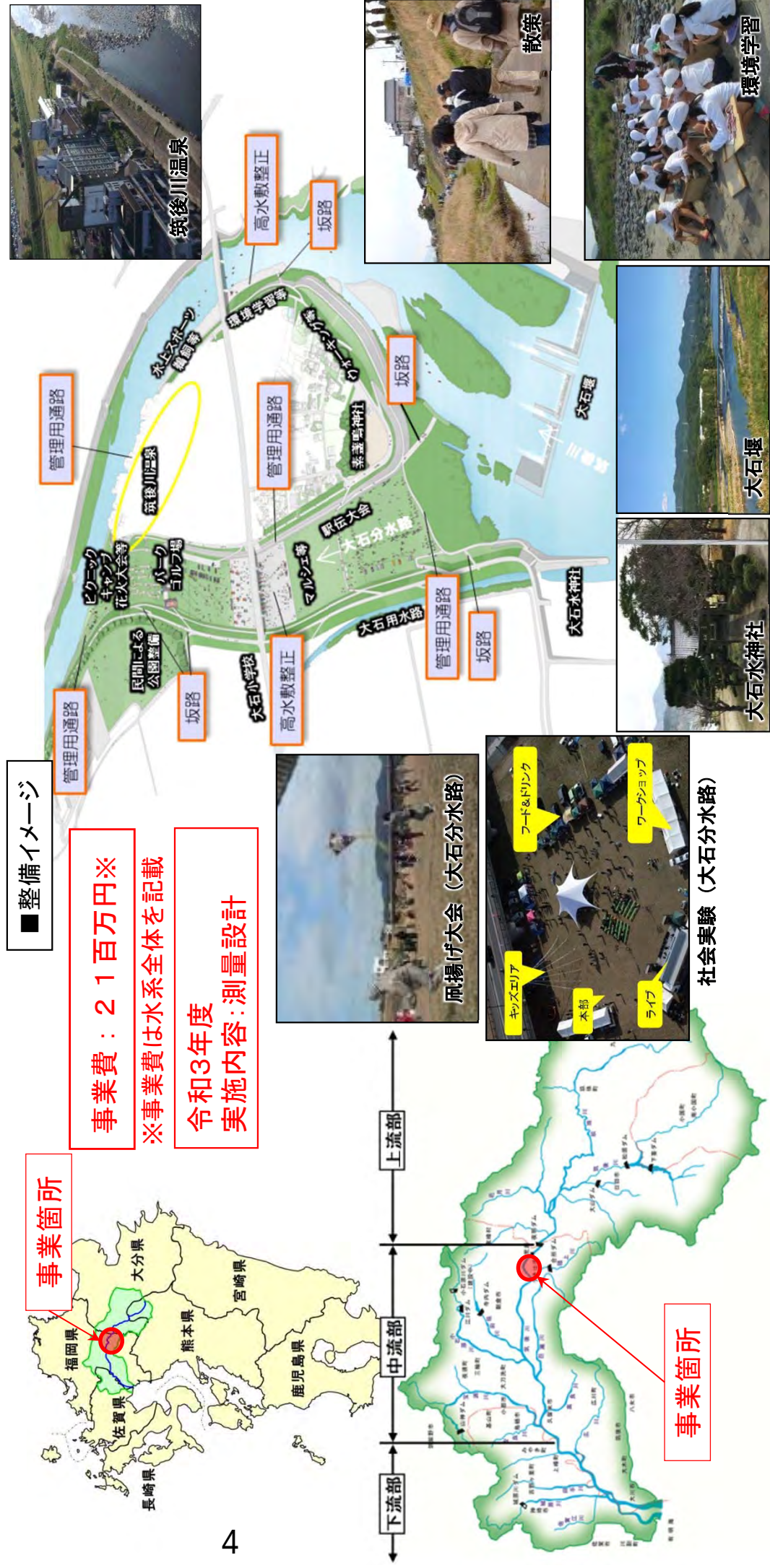
世界遺産・中島を活用するゾーン

市役所前の高水敷・水辺を活用するゾーン
(遠賀橋上流)

高水敷でスポーツ等を楽しむゾーン

市役所前の高水敷・水辺を活用するゾーン
(遠賀橋下流)

- 4

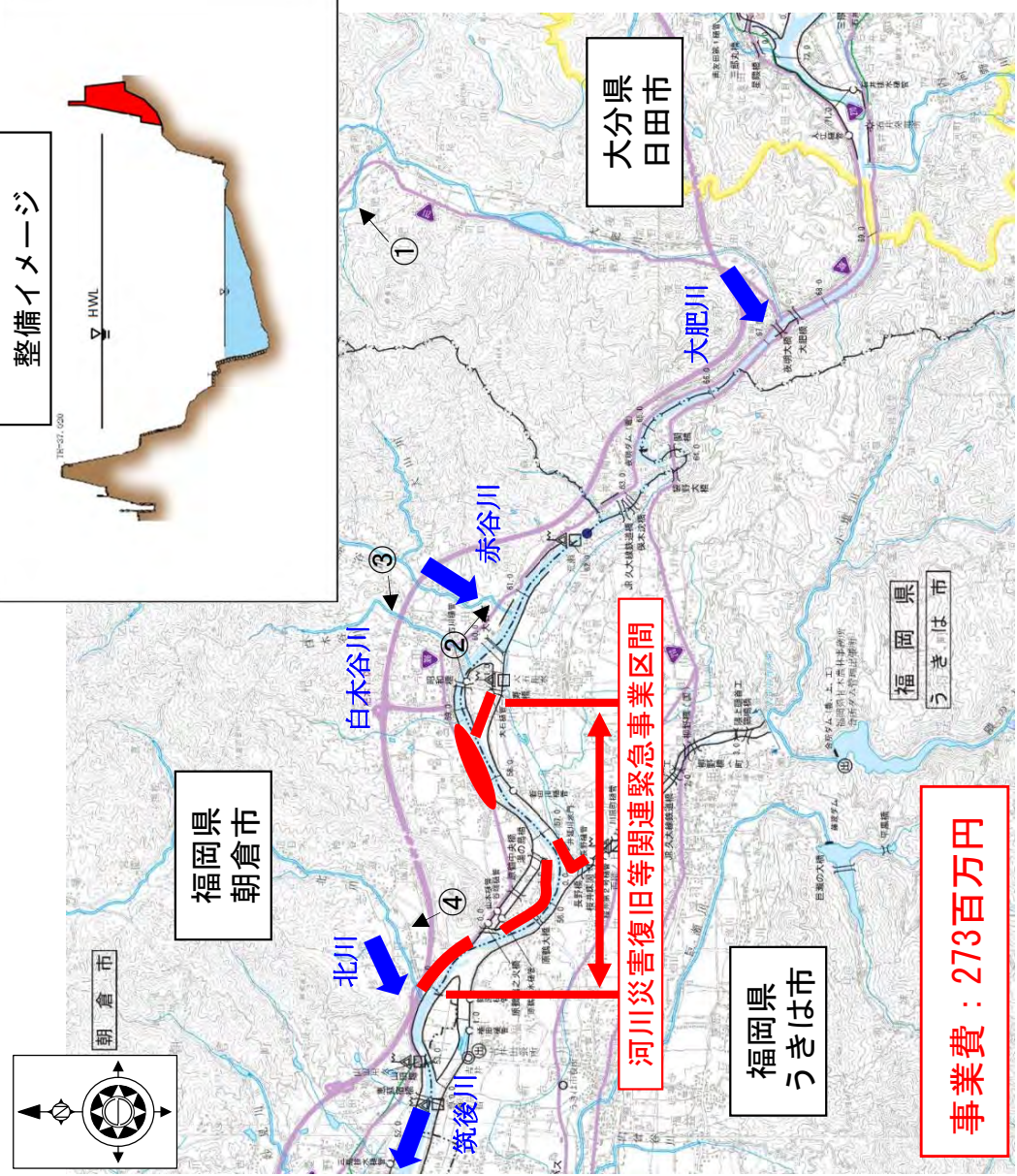
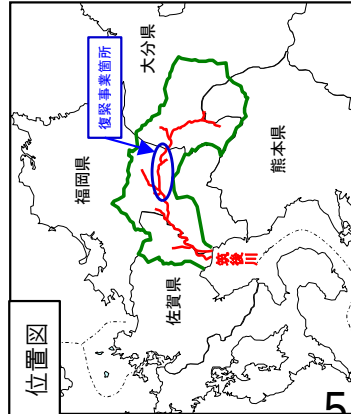


筑後川河川災害復旧等関連緊急事業【直轄】

完成

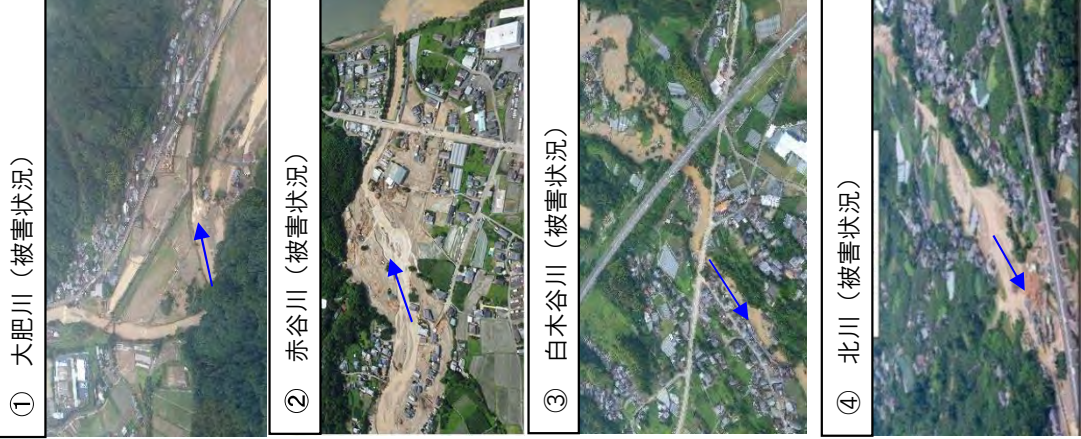
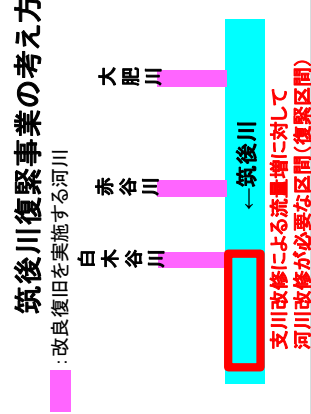
河川－5

- 平成29年7月九州北部豪雨により、甚大な被害が発生した筑後川右岸の支川において実施する災害復旧事業等と併せて、筑後川本川においても、河川災害復旧等関連緊急事業として一体的に河川改修を実施。
- 令和3年度は、築堤、築堤、樋管改築を行うことで、本川右岸支川の流量増に対して、外水による家屋浸水被害を解消する。



浸水戸数 ※	
・床上浸水	184戸
・床下浸水	90戸
・浸水面積	約278ha

※北川流域・白木谷川流域・赤谷川流域
・大肥川流域の浸水戸数の合計値



筑後川水系赤谷川特定緊急砂防事業

継続

河川－6

■筑後川水系赤谷川特定緊急砂防事業（朝倉市）

○平成29年7月の九州北部豪雨を踏まえ、土砂災害による被害を防止・軽減するために筑後川水系赤谷川において緊急かつ集中的に砂防堰堤等の整備を実施。

位置図



令和3年度

実施内容：砂防堰堤工等

事業費：3,200百万円

乙石川上流 斜面崩壊状況



乙石川 流木被害発生状況



集中豪雨による土砂災害（平成29年7月）

集中豪雨による流木災害（平成29年7月）



令和3年度整備箇所



崩壊箇所

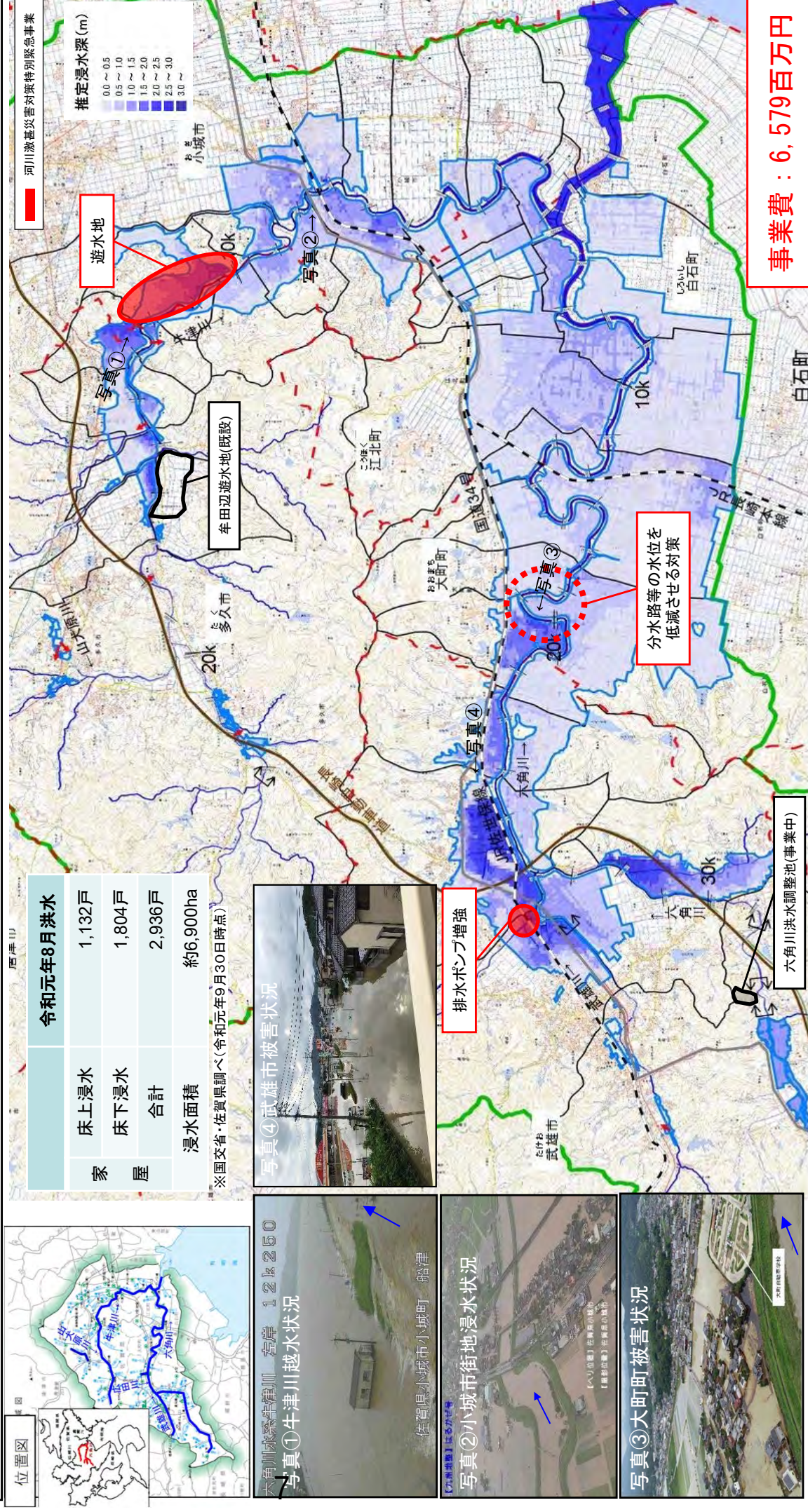
山腹崩壊・被災状況



流木捕捉効果の高い
透過型砂防堰堤イメージ

■令和元年8月豪雨では、六角川水系牛津川で観測史上最高水位を記録し、堤防からの越水、支川や水路からの氾濫により、六角川水系において甚大な被害が発生。

■本事業を実施することにより、六角川水系において浸水被害軽減を図る。



事業費：6,579百万円

城原川ダム建設事業【直轄】

継続

河川－8

■事業概要

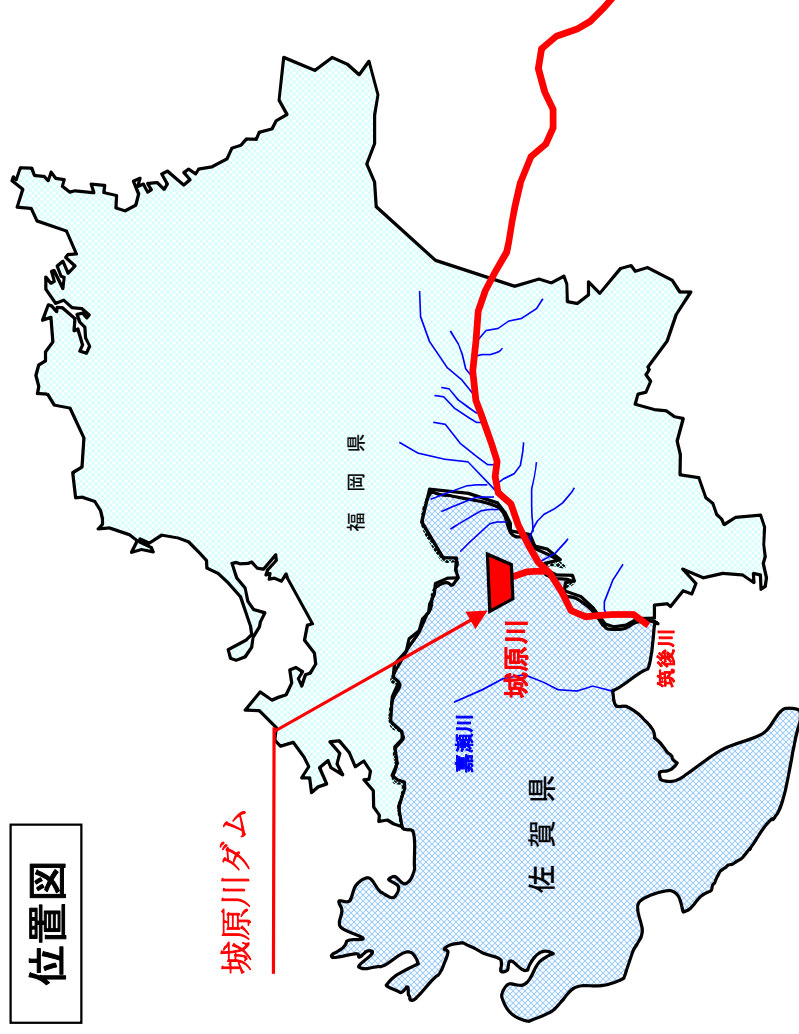
- 場所 佐賀県神埼市(筑後川水系城原川)
かんざきし ちくごがわ じょうばるがわ
- 目的 洪水調節
- 諸元 堤高：約60m 総貯水容量：約3,550千 m^3
- 経緯 昭和54年度 実施計画調査着手
平成30年度 建設事業着手
- 事業効果 ダムによる洪水調節を行い、城原川ダム下流域の治水安全度の向上を図る。
- ◆洪水被害軽減を図る洪水調節専用のダム

■令和3年度実施内容

本体関連の調査・設計、用地調査
付替道路の調査・設計、工事用道路工事
等

事業費：872百万円

位置図



城原川ダム完成イメージ



早岐川大規模特定河川事業【補助】

新規

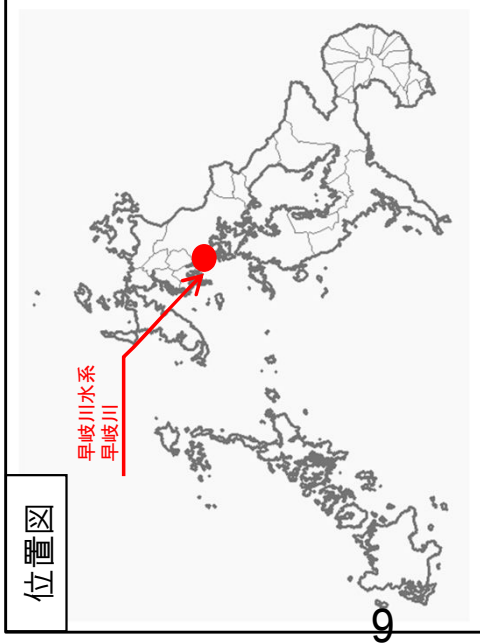
河川—9

■早岐川水系早岐川大規模特定河川事業（佐世保市）

早岐川水系早岐川は、河道が狭小なため、昭和42年7月の豪雨では浸水面積70ha、床下浸水535戸の被害、更に、平成2年7月の豪雨では浸水面積10ha、床上浸水82戸・床下浸水117戸の甚大な被害が生じた。

このため、大規模特定河川事業により河道掘削、橋梁架替等を集中的に実施し、早期に地域の安全性の向上を図る。

位置図



平面図



事業費：300百万円



被害概要

昭和42年

- ・床下535戸
- ・浸水面積70ha

平成2年

- ・床上82戸
- ・床下117戸
- ・浸水面積10.1ha

事業実施のイメージ

